

## 平成27年度 農林水産部補正予算(一般会計)要求の概要

(単位:千円)

補正要求額	27年度累計額	26年度当初予算額	増減額	増減率
10,635,716	57,000,700	54,372,485	2,628,215	4.8%
うち公共事業費 9,216,429	26,378,508	26,385,483	△ 6,975	△0.0%

### I 要求のポイント

#### 1 知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業の振興

##### 【基本方針】

農林水産業が持続的に発展していくためには、社会情勢の変化を見据え、構造改革を着実に進めることが必要となっています。

その対策として、ライフスタイルの変化や流通チャンネルの多様化等国内マーケットの構造が変化していることから、消費者ニーズを的確に捉えた商品づくりを推進するとともに、増大する海外の食市場を取り込むための、輸出拡大を図ります。

また、高齢化等により担い手不足が一層進行する中、新規就業者のさらなる確保や企業参入を促進するなど、多様な担い手の確保を図るとともに、TPP交渉などの行方を注視しながら、農地の集積・集約化や生産体制の分業・協業化を確立することなどで経営の低コスト化、効率化に取り組み力強い経営体を育成します。

さらに、力強い経営体を支えるための効率的で持続性のある生産基盤・環境づくりを推進するとともに、農山漁村における豊かな地域資源を活用した6次産業の振興を図ることにより、農林水産業の所得向上を目指します。

##### (1)「The・おおいた」ブランド確立に向けた商品づくり

園芸戦略品目等のさらなる生産拡大・販売体制の強化を図るため、県域販売体制の強化や大規模リース団地の整備を進めます。

「甘太くん」のブランド確立のため、生産農家の大規模化に資する施設整備等に対して支援します。

果樹産地の担い手確保や園地の円滑な流動化を進めるため、流動化園の管理、改植や新技術導入に必要な施設整備等に対し支援します。

高品質かつ安全・安心でおいしい「おおいた豊後牛」のブランド確立のため、人工授精や受精卵移植を活用した品質向上対策を推進します。

ブリとヒラマサの複合養殖によるブリ養殖業者の経営安定や協業化を進めるため、ヒラマサの人工種苗供給体制の確立を図ります。

##### (2)次代を担う力強い経営体づくり

農地の集積・集約化を進めるため、農業委員会機能を活用し、農地集積のマッチングを推進するとともに、集約化により効率化を目指す農家に対し支援します。

次世代の女性農業リーダーを育成するため、若い農山漁村女性が交流できる研修会や、女性経営士養成講座等を開催し、農山漁村の活性化を図ります。

「おおいた豊後牛」の安定供給体制の確立のため、肥育預託制度を創設するとともに、中核的担い手による増頭に対し支援します。

県産養殖魚の販路拡大と生産者の経営安定を図るため、県漁協水産物加工施設のフィレ加工機器導入に対し支援します。

##### (3)効率的で持続性のある生産基盤・環境づくり

大規模経営体への誘導や参入促進のため、農地の再編整備や大区画化を推進します。

阿蘇山の噴火に伴う降灰被害を防除・軽減するため被覆施設や洗浄機械等の導入に対して支援します。

効率的な林業施業を推進するため、3Dレーザースキャナの導入や自動下刈ロボットの技術開発に対し支援します。

素材生産量や原木需要の増大に対応する新たな流通体制の構築を進めるため、原木中間集積地の整備に対し支援し、木材流通の構造改革を推進します。

今後の再造林面積の拡大による苗不足に対応するため、民間採穂園や苗木生産施設の整備に対し支援し、スギ挿し木苗の自給率向上を図ります。

野生鳥獣による農林作物被害の削減に向けて、捕獲報奨金の拡充によるシカの捕獲圧強化対策を実施します。

##### (4)地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出

農林水産業の付加価値向上のため、地域資源を活用した農林漁業者による6次産業化や農商工連携を積極的に推進します。

II 事業体系(県政推進指針)

【安心・活力・発展の大分県づくりの推進】

2 活力 —いきいきと暮らし働くことのできる活力ある大分県—

(1) 知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業の振興

①「The・おおいた」ブランド確立に向けた商品づくり

	当初予算額	補正要求額	累計額
— 次世代を担う園芸産地整備事業	657,835	406,696	1,064,531
— 安全・安心な商品づくり推進事業	40,753		40,753
— 大分の茶産地強化対策事業	315,682		315,682
— 新 甘太くんブランド力強化対策事業		38,078	38,078
— 新 果樹産地改革総合推進事業		8,782	8,782
— 攻めの水田農業構造改革事業	82,804		82,804
— 酪農振興総合対策事業	63,826	17,331	81,157
— 新 おおいた豊後牛品質向上対策事業		24,678	24,678
— 木造建築物等建設促進総合対策事業	809,635	20,000	829,635
— 九州材販路拡大総合対策事業	18,412		18,412
— 原木しいたけ再生回復緊急対策事業	50,285		50,285
— 県産魚販売総合力向上事業	13,656		13,656
— 新 ヒラマサ人工種苗供給推進事業		20,700	20,700
— 農林水産物輸出促進対策事業	6,544		6,544

②次代を担う力強い経営体づくり

— 農地中間管理推進事業	1,117,243	10,000	1,127,243
— 地域育成型就農システム支援事業	42,669		42,669
— 企業等農業参入推進事業	29,365		29,365
— 中山間地域集落営農経営発展モデル事業	8,385		8,385
— 新 水田集積・集約化推進事業		32,400	32,400
— 新 次世代女性農業リーダー育成事業		3,317	3,317
— 新 肉用牛生産基盤拡大緊急支援事業		271,334	271,334
— 林業事業体強化推進事業	113,276		113,276
— 新 特用林産物生産施設等整備事業		75,000	75,000
— 漁業担い手総合対策事業	8,851		8,851
— 新 中核的水産加工施設整備事業		43,500	43,500

③効率的で持続性のある生産基盤・環境づくり

— (公)国営緊急農地再編整備事業	37,800		37,800
— (公)農業農村整備事業	6,398,035	4,294,142	10,692,177
— 新 活動火山防災営農施設整備事業		122,260	122,260
— 新 おおいた林業ICT化推進事業		25,693	25,693
— 新 原木中間集積地整備事業		36,100	36,100
— 新 スギ挿し木苗自給率向上対策事業		9,322	9,322
— 水産資源管理実践支援事業	61,830		61,830
— 鳥獣被害総合対策事業	451,469		451,469
— 森林シカ被害防止対策事業	249,854	21,500	271,354

④地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出

— 新 6次産業化チャレンジ促進事業		12,689	12,689
— 新 食品企業連携産地づくり事業		7,610	7,610
— 新 畜産堆肥利活用推進事業		26,438	26,438
— 竹林環境改善整備事業	37,955		37,955

(注)事業名前の「新」は新規事業を示す。

平成27年度 農林水産部補正予算(一般会計)要求に対するご意見をお寄せください。

e-mail: a15000@pref.oita.lg.jp (農林水産部農林水産企画課)

平成27年度 補正予算（一般会計）要求の主な事業概要

(部局名：農林水産部)

(単位：千円)

事業名	平成27年度 補正要求額 ＜累計額＞ (前年度当初)	補正要求の概要	所管課
1 次世代を担う園芸産地整備事業	406,696 ＜1,064,531＞ (1,548,531)	産地規模の拡大により、流通市場での価格形成をリードできるよう、園芸戦略品目のさらなる産出額増加に向けて、栽培施設等の整備に対し支援する。	園芸振興室
2 (特) 甘太くんブランド力強化対策事業	38,078 ＜38,078＞ (0)	高糖度甘しょ「甘太くん」の生産規模拡大を図るため、自走式収穫機の導入や育苗施設の整備、規模拡大に伴う経営リスクに対し支援する。	園芸振興室
3 (特) 果樹産地改革総合推進事業	8,782 ＜8,782＞ (0)	果樹園地の円滑な流動化を促進し、新たな担い手を確保するため、園地流動化促進協議会を設置するとともに、早期成園化のための新技術に必要な大育苗施設の整備に対し支援する。	園芸振興室
4 酪農振興総合対策事業	17,331 ＜81,157＞ (0)	大分県酪農振興計画に基づき、乳量の増加、低コスト生産を図る規模拡大を目指す経営体を対象に、牛舎や飼料調製用機械等の整備に対し支援する。	畜産技術室
5 (特) おおいた豊後牛品質向上対策事業	24,678 ＜24,678＞ (0)	高品質かつ安全・安心で美味しい「おおいた豊後牛」の銘柄確立のため、産肉・オレイン酸生成能力に優れた県有種雄牛精液を活用した人工授精及び受精卵移植に対し助成する。	畜産技術室
6 木造建築物等建設促進総合対策事業 (森林環境税活用事業)	20,000 ＜829,635＞ (794,604)	地域材の需要拡大を図るため、県内外からの集客が見込め地域材のPR効果が高い民間施設の木造化、内装木質化に対し助成する。	林産振興室
7 (特) ヒラマサ人工種苗供給推進事業	20,700 ＜20,700＞ (0)	戦略魚種であるヒラマサの生産拡大とブリ養殖業者の複合経営への転換による経営安定を図るため、漁業公社にヒラマサの人工種苗生産を委託し、安定供給体制を構築する。	水産振興課
8 農地中間管理推進事業	10,000 ＜1,127,243＞ (948,147)	農地中間管理事業による農地の集積・集約化を加速させるため、豊富で詳細な農地情報を持つ農業委員会機能を活用して、農地の出し手と受け手のマッチングを促進する。	農地農振室
9 (特) 水田集積・集約化推進事業	32,400 ＜32,400＞ (0)	米政策の見直しに対応し、低コスト生産と水田フル活用を実現するため、自ら農地集積を行い規模拡大を図る農家に対し支援する。	集落営農・水田対策室
10 (特) 次世代女性農業リーダー育成事業	3,317 ＜3,317＞ (0)	次世代女性リーダーの育成により農山漁村の持続的発展を図るため、既存の農山漁村女性組織を、若い世代も加入しやすい新たな組織に再編し、地域での研修交流を通じたネットワーク化を促進するとともに、女性農業経営士養成講座を開催する。	農山漁村・担い手支援課
11 (特) 肉用牛生産基盤拡大緊急支援事業	271,334 ＜271,334＞ (0)	生産者の高い増産意欲に応え、繁殖及び肥育農家連携のもと「おおいた豊後牛」の安定供給に向けた生産基盤を強化するため、繁殖農家の増頭に向けた自家保留に対し支援するとともに、肥育牛預託貸付制度を創設する。	畜産振興課

平成27年度 補正予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：農林水産部）

（単位：千円）

事業名	平成27年度 補正要求額 ＜累計額＞ （前年度当初）	補正要求の概要	所管課
12 新 特用林産物生産施設等整備事業	75,000 ＜75,000＞ (0)	日田市大山地区の基幹農産物である、えのきたけの年間を通じた安定供給体制の構築及び販路拡大を図るため、生産施設の増設に対し支援する。	林産振興室
13 新 中核的水産加工施設整備事業	43,500 ＜43,500＞ (0)	今後大幅な需要の伸びが期待されるフィレ加工品の生産能力を向上させるため、大分県漁協水産物加工処理施設の自動真空包装機の整備に対し支援する。	水産振興課
14 (公) 農業農村整備事業	4,294,142 ＜10,692,177＞ (10,695,566)	担い手農家への農地集積や低コスト生産体制の確立に向けて、区画整理及び暗渠排水等の生産基盤の整備を行うとともに、農業用水の安定供給を図るため、老朽化した農業用水利施設の保全対策を実施する。 農村地域の防災力の向上を図るため、脆弱なため池の改修やハザードマップの作成等、総合的な防災・減災対策を実施する。	農村基盤整備課
15 新 活動火山防災営農施設整備事業	122,260 ＜122,260＞ (0)	阿蘇山の噴火に伴う降灰被害を防ぐため、洗浄用機械や降灰防止施設等の整備に対し支援する。	園芸振興室
16 特 おおいた林業ICT化推進事業	25,693 ＜25,693＞ (0)	経験や勘に依存していた山の材積の見積もりや人力作業の一部を機械化することにより、林業関係者の収益性の向上や新規就業者の確保を図るため、3Dレーザースキャナの導入や自動下刈ロボットの技術開発を支援する。	林務管理課
17 新 原木中間集積地整備事業	36,100 ＜36,100＞ (0)	県産材の安定的な流通体制の構築を図るため、従来の原木市場流通に加え、低質材（C・D材）の原木を効率的に流通させる中間土場の整備に対し支援する。	林産振興室
18 新 スギ挿し木苗自給率向上対策事業	9,322 ＜9,322＞ (0)	スギ挿し木苗の県内自給率向上を図るため、県推奨品種の苗木生産施設の整備を支援するとともに、苗木生産新規参入者の育成や低コスト再造林に有用なコンテナ苗の増産を推進する。	森林整備室
19 森林シカ被害防止対策事業 (森林環境税活用事業)	21,500 ＜271,354＞ (92,282)	シカによる農林作物への被害を減少させるため、シカの妊娠期にあたる猟期の捕獲報奨金を増額し捕獲圧を強化する。	森との共生推進室
20 特 6次産業化チャレンジ促進事業	12,689 ＜12,689＞ (0)	農林水産業の付加価値向上のため、特長のある「こだわり産品」を有する地域の生産者の6次産業化の新規取組を支援するとともに、テストマーケティングを活用した商品の改良や販路開拓を行う。	おおいたブランド推進課
21 特 食品企業連携産地づくり事業	7,610 ＜7,610＞ (0)	食品企業による野菜の加工業務用需要の増加に対応するため、加工業務向けキャベツの大規模産地化や周年出荷体制の構築に向けた取組を支援する。	おおいたブランド推進課
22 新 畜産堆肥利活用推進事業 (産業廃棄物税活用事業)	26,438 ＜26,438＞ (0)	環境保全型農業を推進するため、堆肥の活用及び飼料作物生産の受託作業に取り組む組織（コントラクター組織）が行う家畜排せつ物処理利用施設機械等の整備に対し支援する。	畜産振興課

※(新)は「新規事業」、(特)は「おおいた地方創生枠事業」